

# 大変危険です。

## 子どもの誤飲!!

お子さんが「はいはい」や「伝い歩き」をするようになると、手に触れたものを何でも口に入れるようになります。中毒 110 番への問い合わせは5歳以下の小児、特に**生後6ヵ月～2歳未満**の乳幼児の誤飲事故が大部分を占めています。

さて、どのようなものを口に入れてしまうのでしょうか？

下の絵は誤飲事故の多いものです。この様なものがお子さんの**手**の届くところに放置されていませんか？

たばこ



医薬品



化粧品



洗剤



家庭用殺虫剤



**危険がいっぱい!**



カー用品、灯油



靴クリーム、肥料



防虫剤



クレヨン、水性絵の具

## ストップ!! 子どもの誤飲事故

### ▼親がちょっと目を離した際におこります!!

誤飲事故は、台所仕事をする、電話にでる、洗濯物を干すなど、親が子どもからほんのちょっと目を離した際に、あるいは大人が見ている目の前でも起こります。

詳しくは、日本中毒情報センターホームページ<http://www.j-poison-ic.or.jp>の「市民のための中毒の知識」や「発生状況確認ゲーム」をご覧ください。

### ▼大切なことは、事故の防止です。

子どもの誤飲事故は、子どものまわりにいる大人が注意することで防げます。注意すべき対象は、子どもの月年齢に応じて変わります。

日頃から危険な品物を子どもの手の届かない高い所が、鍵のかかるところに保管する心がけが必要です。

### ●年齢に応じて注意の対象も変わります。

年 齢	注意すべき対象 (後始末や保管管理)
6ヵ月～12ヵ月	床や畳など、低い位置のものに注意。 吸殻やたばこ、植木鉢の化学肥料、バケツの中の洗剤液
1歳～2歳	子供の目線の高さにあるものにも注意。 洗面台や流しの下洗剤、シャボン玉液など玩具 使用後の灯油ポンプ、鏡台の前の化粧品
3歳～5歳	高い場所にも注意が必要。(行動範囲が広がります) 食器棚の上の救急箱、引き出しの中の医薬品 冷蔵庫の中のシロップ薬、流しの漂白中のコップ



# 万が一、子どもの誤飲事故が起きてしまったら

(財)日本中毒情報センターでは、化学物質(たばこ、家庭用品等)、医薬品、動植物の毒などによる急性中毒について、実際に事故が発生している場合に限定して、応急処置や受診の必要性を薬剤師がアドバイスしております。ただし、異物誤飲(プラスチック、石、ビー玉等)や食中毒、慢性的中毒(アルコール中毒、シンナー中毒等)や常用量での医薬品の副作用についての相談には応じていません。



(財)日本中毒情報センター 大 阪:072-727-2499 (365日 24時間対応)

中毒110番

つくば:029-852-9999 (365日 9~21時対応)

\* 焦らせずに誤飲した物を手に持って、お子さんの年齢や体重、品物の正確な名称、飲んだ量など事故の状況を伝えて下さい。

## ■医療機関を受診するまでに家庭で行える応急処置と行ってはいけないこと

		水を 飲ませる	牛乳を 飲ませる	吐かせる	行ってはいけない理由等
たばこ	葉・吸殻	×	×	○	消化管内でたばこからニコチンが溶け出して吸収されるのを促進する恐れがあるため。 (処置は別項参照)
	たばこを浸した溶液	○	○	○	
強酸又は強アルカリ (洗浄剤・漂白剤等)		○	○	×	誤飲時に、喉や食道に「やけど」をおこしており、吐かせると再度「やけど」を受け、症状が悪化するため少しでも口にしたら、牛乳(ない場合は水)を飲ませ医療機関を受診する。
防 虫 剤		○	×	△	防虫剤のように脂溶性の物質は、牛乳等の脂肪分に溶けて吸収が促進されるため。成分が樟脳(カンフル)の場合は、けいれんを誘発する恐れがあるため吐かせてはいけない。水を飲ませ医療機関を受診する。
ホウ酸ダンゴ (ホウ酸)		○	○	○	
石 油 製 品 (灯油・ベンジン等)		×	×	×	石油製品等の揮発性の高い物質は、吐かせると気管に入りやすく、少量でも入ると化学性肺炎をおこす。また、牛乳や水等を飲ませると嘔吐を誘発する可能性があるため、何も飲ませず又吐かせず医療機関を受診する。

○: 行ってよいこと、×: 行ってはいけないこと、△: 成分によっては行ってはいけないこと

## たばこの誤飲

### ■小児の誤飲事故が一番多いのは「たばこ」です

中毒110番へのたばこ(吸殻を含む)についての相談件数は、年間2,600件、1日平均7件でこれは総相談件数の8.7%に相当します。

たばこや灰皿を小児の手の届く場所に置かないようにしましょう。

また、ジュースやビールの空き缶を灰皿の代わりに使うのはやめましょう。



### ■「たばこ」を食べてしまったら

#### 症 状

初期には、30分～4時間後に吐いたり、顔が青白くなり、よだれや冷や汗が多く出たり、元気がなくなったりという症状が現われます。

#### その時の処置

1. たばこの葉や吸殻を大量(2cm以上)に食べた場合は、なにも飲ませず、食べさせずにすぐ病院に連れて行きます。
2. 灰皿の中の水などたばこを浸した液を飲んだ場合は、水や牛乳を飲ませて吐かせ、すぐに病院に連れて行きます。
3. 乾いたたばこを少量(2cm未満)食べた時には、家庭で1日、様子を見ます。上に書かれている症状があれば、受診した方がよいでしょう。まる1日(24時間)経って異常がなければ、安心できます。

【注意】 たばこに対する感受性は個人差が大きく、少量でも症状が出ることがあります。

たばこ誤飲事故専用電話  
(テープ方式)

たばこ誤飲事故時の対処方法について、

**072-726-9922** (365日 24時間対応)

で自動音声応答方式により情報を提供いたしております。